

The background of the image is a close-up, high-angle shot of several rolls of fabric. The fabric has a fine, woven texture and is a light, neutral color, possibly beige or light grey. The rolls are stacked and slightly curved, creating a sense of depth and texture. The lighting is soft and even, highlighting the intricate details of the fabric's weave.

Mecoo

Honest with Nature.

Honest with Nature.

滋賀県長浜市。日本最大の湖である琵琶湖の北部に位置し、滋賀県最高峰の伊吹山を東に望むこの静かな城下町で、シルク生地の美しさに新たな基準が生まれました。キーワードは「エコロジー」。生産の効率をひたすらに求める歩みを少し緩め、環境問題に真摯に向き合うことで見えてきた未来志向の「美しさ」を形にします。その名をNecoS(Nagahama Eco-friendly Silk)。私たち吉正織物が浜ちりめん300年の歴史の中に誇りを持って記す、新たな一歩です。





山の水。湖の水。浜ちりめんは水と生きている。

浜ちりめんの表面に美しいシボを生み出す「水撚り」を支える伊吹山の豊かな伏流水。そして浜ちりめんにしなやかさを与える世界屈指の軟水である琵琶湖の深層水。長浜の地を潤す豊かな水と、ここで300年に渡って伝わる伝統技術が、私たちの浜ちりめんを特別な存在にしています。

38 / 38

「2ヶ月、38工程」その全てから化学物質を排除。

最良の天然繊維のひとつであるシルク。文字通り自然の恩恵を享受してきた絹織物に携わる私たちだからこそ、環境問題に真摯に向き合う必要がある——。製造の全38工程を徹底的に見直し、完全なノンケミカルを達成した新技術「NecoS」。真に「天然由来」と言える絹織物の誕生です。



white
~~WHITE~~

真っ白ではない「白」が語る、浜ちりめんの未来

これまで良しとされてきた浜ちりめんの「白」の美しさ。でもそれはケミカルに頼った「白すぎる白」でした。NecoSの「白」は天然シルク「白」そのもの。従来の固定概念を塗り替え、未来志向の美しさを雄弁に語る、新しい時代の始まりの色と言えるのかもしれない。



NecoSから始まる、300年の中の新たな一歩。

長浜の地で連綿と続く300年という歴史の中に生きる、私たち吉正織物の「浜ちりめん」。先人の知恵を受け継ぎながら、試行錯誤の中で生み出してきた多様な織りの一つ一つに、独特の美しさ、やさしさ、風合いが宿る——。そんな私たちの「浜ちりめん」に、今、NecoSが新たな息吹を与えます。



有限会社 吉正織物工場

〒526-0014 滋賀県長浜市口分田町629番地

TEL: 0749-62-1790

<https://yoshimasa-orimono.jp/>